



2020年8月4日

各位

会社名 株式会社リンコーコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 南波 秀憲
 (コード番号 9355 東証第二部)
 お問い合わせ先 取締役 前山 英人
 (TEL. 025 - 245 - 4112)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月15日の2020年3月期決算発表時において未定としておりましたが、2021年3月期第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想、並びに配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想数値(2020年4月1日~2020年9月30日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	7,190	△360	△280	△260	△96.38
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	8,840	282	305	204	75.96

(2) 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	14,130	△610	△500	△470	△174.23
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	16,803	497	521	99	37.00

(3) 公表の理由

2021年3月期第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な業績予想の算定が困難なため未定としておりました。その後、国内における緊急事態宣言の解除等により経済活動再開等の動きが見え始めたことから、現時点において入手可能な予測等を踏まえ、連結業績予想を公表いたします。

第2四半期（累計）につきましては、主力の運輸部門においては、日用雑貨品など一部の輸入コンテナ貨物は堅調に推移する見込みですが、輸出コンテナ貨物は新型コロナウイルスの影響からアジアを中心とした相手国の需要が低い状態が続き、低調に推移する見込みであります。一般貨物も市況が低調な状態が続き、主要貨物の取扱が伸び悩む見込みであります。ホテル事業部門においては、緊急事態宣言解除後、客室稼働率やレストラン客数、宴会受注件数等に回復の兆しが見られますが、業績が急速に回復することは困難な見通しであります。また、政府主導の「Go Toキャンペーン」による効果も現時点では限定的であると見込んでおります。その他の部門は概ね堅調に推移する見込みであります。第2四半期（累計）の連結業績予想は、売上高71億9千万円、営業損失3億6千万円、経常損失2億8千万円、親会社株主に帰属する四半期純損失2億6千万円となる見通しであります。

第3四半期以降につきましては、再度、緊急事態宣言が発出されない前提のもと、運輸部門では引き続き一部の輸入コンテナ貨物が堅調に推移するものの、輸出コンテナ貨物や主要な一般貨物の荷動きは第2四半期と同様に低調に推移する見通しであります。ホテル事業部門は、宿泊客数について一定の増加を見込むものの本格的な回復には至らない見通しであります。また、レストランや宴会についても、感染予防策を取った上での営業となるため、第2四半期に比べ集客数は増加するものの従来どおりの水準に戻すことは困難であり、当期末までその影響が続く見通しであります。その結果、通期の連結業績予想は、売上高141億3千万円、営業損失6億1千万円、経常損失5億円、親会社株主に帰属する当期純損失4億7千万円の見通しであります。

なお、当社企業グループは、新型コロナウイルスの影響について2021年3月ころまで継続するとの仮定に基づき、連結業績予想を算定しておりますが、今後、感染拡大の第2波の発生等によっては、収束時期やその影響の範囲は大きく変動する可能性があります。当社企業グループの業績予想を変更する場合には、速やかに公表いたします。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年5月15日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—		
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	—	—	—	30.00	30.00

(2) 公表の理由

当社は、業績に裏付けられた成果の配分を行うとともに、企業継続の持続性確保のため内部留保と安定配当を継続することを基本方針とし、それが株主の利益に資するものと認識しております。しかしながら、上述のとおり、当期の業績予想は大幅に悪化することが見込まれるため、誠に遺憾ではございますが、2021年3月期の配当につきましては、無配の見通しとさせていただきます。

(注) 上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。

以上